

対ガーナ共和国 事業展開計画

2017年 4月 現在

基本方針 (大目標)	広く国民が受益する力強い経済成長の促進
---------------	---------------------

重点分野1 (中目標)	農業（稲作）
----------------	--------

開発課題1 (小目標) 農業・農村振興	【現状と課題】 ガーナの農業はGDPの2割、外貨獲得の3割以上を占める基幹産業であるが、カカオを中心とする典型的な一次産品依存型のため、国際貿易の影響を受けやすい。加えて、農業従事者の大多数は小規模農家であり、肥料や農薬、農業機械などへのアクセスが十分でないことから、生産性や収益性が小さく不安定である。「ガーナ成長と開発アジェンダII (GSGDA2)」において、ガーナ政府は農業の近代化を開発課題として位置づけているが、灌漑開発・利用面積が低く既存施設が効率的に利用されていない、農業機械アクセス未整備などの課題を有している。			【開発課題への対応方針】 我が国が知見を有する稲作に重点を置いて、小規模農民の生産性・収益性の向上や普及体制強化に資する支援に加え、農業機械化の促進を含む生産基盤やバリューチェーンアプローチの取入、流通体制の整備を通じた農業の集約化・商業化の促進に貢献する。また、「アフリカ稲作振興のための共同体 (CARD)」の枠組、他のドナーとの連携などを有機的に活用することにより事業の面的拡大、相乗効果の発現を図る。								
	協カプログラム名	協カプログラム概要	プロジェクト名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考
					2016 年度 以前	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度		
	稲作振興・農業開発プログラム	稲作振興を協力の主要要素と捉え、①農地整備・灌漑排水施設整備などの総合的な農業生産基盤強化 ②基礎的な栽培技術及び農家レベルの収穫後処理の改善 ③営農支援体制整備及びその普及に向けた普及員や農民の能力開発・組織化への支援に重点的に取り組む。	天水稲作持続的開発プロジェクト フェーズ2	技プロ							5.38	
			ボン灌漑地区における小規模農家市場指向型農業支援・民間セクター連携強化プロジェクト	技プロ							4.54	
		小規模農家向け農業機械販売事業準備調査 (BOPビジネス連携促進)	協準 (共通)							0.49		
農業・農村振興総合プログラム	各プロジェクトにより総合的に農業・農村振興を推進する。	農業・農村振興分野の青年海外協力隊	JOCV									
		農業開発・農村開発分野の課題別研修	課題別研修他									

重点分野2 (中目標)	経済インフラ（電力・運輸交通）											
【現状と課題】 運輸交通分野においては、ガーナの国内輸送の95%を道路に依存している現状から、地域社会の生活基盤を支える道路網の整備が喫緊の課題である。また、ガーナの国内交通網整備は、西アフリカ域内の発展にとっても有益であることから、広域的な観点も含め、ガーナ国内の経済成長を見据えた運輸交通整備が重要である。エネルギー分野においては、石油・ガス分野の着実な事業化と収益の国内経済への裨益、そのための制度整備が必要である。また、電力分野においては、発電容量の増強や電化率向上、電気料金の適正化、地方電化、送配電設備の更新・増強が課題である。			【開発課題への対応方針】 運輸交通分野においては、地域社会の生活基盤、地域経済成長を支える道路網の整備に取り組む。また、国の経済の底上げと広域的な成長促進のため、ガーナ東部地域の運輸交通整備（橋梁を含む道路網整備など）を進める。エネルギー分野においては、特に電力分野において、地域社会の発展および経済成長をのためのエネルギーの適正な分配を進めるため、発電容量の増強や電化率向上、地方電化、送配電設備の更新・増強を進める。									
協カプログラム名		協カプログラム概要	プロジェクト名	スキーム	実施期間 2016年度以前 2017年度 2018年度 2019年度 2020年度 2021年度						支援額 (億円)	備考
開発課題2 (小目標) 経済インフラ整備		経済インフラ整備プログラム 地域社会の生活基盤として不可欠であるとともに、力強い経済成長を支える運輸交通や電力などのインフラ整備を複合的に支援する。	アフリカ諸国電力技術者養成プロジェクト	技プロ	—						5.04	
			LBTによる瀝青表面処理工法開発プロジェクト	技プロ	—	—					3.02	
			セコンディ水産振興計画	無償	—	—					21.69	
			西アフリカ成長リング回廊整備戦略的マスタープラン策定プロジェクト	開発計画	—	—						
			ガーナ国際回廊改善計画	無償		—					62.59	
			アクラ中心部電力流通強化計画	無償	—	—					43.57	
			東部回廊ボルタ川橋梁建設計画	有償	—	—					112.39	
			道路橋梁維持管理プロジェクト	技プロ		-----	-----	-----	-----			
			運輸交通分野の課題別研修	課題別研修他								
			資源・エネルギー分野の課題別研修	課題別研修他								
			インフラ分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償	—	—					0.19	

重点分野3 (中目標)	保健・理数科教育												
	【現状と課題】 保健分野では、妊産婦死亡率、乳幼児および5歳未満児死亡率には緩やかな改善が見られたが、MDGs目標達成はならなかった。また、低所得国となり、人口構造や疾病構造の変化から、母子保健・感染症と非感染性疾患両方の負担が課題になっている。また、アフリカ諸国の中では平均余命が長く、域内における高齢化先進国になりつつある。経済成長と共に、地域間、所得間の保健サービスへのアクセス格差は拡大している。更にエボラ出血熱に代表される健康危機への域内での準備態勢強化への貢献が期待されている。「全ての地域・年齢層における質の良いシームレスな保健サービスへのアクセス向上」を5ヵ年計画の目標に掲げ、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ (UHC) の達成を志向している。					【開発課題への対応方針】 UHC達成、保健関連SDGsの達成に貢献するため、地域保健を中心としたサービスへのアクセス向上、医療保障の拡大、健康危機への準備態勢強化に包括的に取り組む。サービス面では地方・農村部における過去10年の地域保健協力の成果を活用し、保健指標の悪い北部地域において、保健関連の啓発活動強化、医療従事者の能力向上などを通じて保健課題に包括的に対応できるよう保健サービスの改善を図るとともに、国レベルでは母子手帳の導入推進を通じ妊産婦及び5歳未満児の死亡率低下に向けた対策を支援する。また、長年支援を継続してきた野口記念医学研究所の機能強化を通じ、ガーナ国内及びアフリカ域内の健康危機への準備態勢を強化する。更に世銀、WHOと連携し、UHCの達成促進を図る。							
	協力プログラム名	協力プログラム概要	プログラム目標	プロジェクト名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考
開発課題3-1 (小目標) 保健	アッパーウエスト州母子保健サービス強化プログラム	我が国のこれまでの協力実績を活かし、アッパーウエスト州をはじめとする地方・農村部における医療施設の建設、保健関係の啓発活動強化、医療従事者の能力向上支援などを通じて保健サービスの改善を図る。また、ほかの国・国際機関などの協調を念頭に置いた事業を展開する。これらを通じて、達成に至らなかったMDG4（5歳未満児死亡率削減）及びMDG5（妊産婦の健康の改善）の改善に引き続き取り組む。	＜プログラム目標＞ アッパーウエスト州において以下の指標を念頭に、母子保健システムの改善に貢献する。 (2010年)→(2015年) ○産前健診受診カバー率 88%→93% ○医療従事者による分娩介助の割合 46%→63% ○産後健診を受診した母親・新生児の割合 69%→74%	北部3州におけるライフコースアプローチに基づく地域保健医療サービス強化プロジェクト	技プロ							8.91	
				地域保健政策アドバイザー	個別専門家								
UHCアドバイザー	個別専門家												
アッパーウエスト州住民の健康促進	JOCV												
貧困削減支援無償	無償							2.00					
保健関連SDGs達成促進プログラム	SDGs Target2・3の達成に向けて、地域保健システム強化、栄養・高齢化・非感染症等の新保健課題への対応能力強化、域内サーベイランス体制・感染症対策強化等を念頭に置いた事業を展開する。		母子手帳を通じた母子保健サービス改善プロジェクト	技プロ									
			地域と保健施設をつなぐ母子継続ケア強化プロジェクト	草の根技協									
			栄養政策のためのマルチセクターアプローチ – ガーナにおけるScale Up Nutrition –	国別研修									
			母親向け栄養強化食品販売事業準備調査 (BOPビジネス連携促進)	民間提案型技協									
			輸血感染対策普及促進事業	民間提案型技協									
			ガーナにおける感染症サーベイランス体制強化とコレラ菌・H1N1等の腸管粘膜感染防御に関する研究	科学技術							3.81		
			野口記念医学研究所先端感染症研究センター建設計画	無償							22.85		
			西アフリカ地域における感染症対策のための実験能力強化	第三国研修									
			家畜感染症 上級専門家育成	国別研修									
			保健・医療分野の青年海外協力隊	JOCV									
保健・医療分野の課題別研修	課題別研修他												
保健分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償							0.48					

重点分野4 (中目標)	行財政機能の強化											
<p>【現状と課題】</p> <p>行財政機能の強化分野においては、公共財政管理面でマクロ経済の予測を可能とする分析能力が不足しており、加えて各省庁の財務管理改善へ取り組む能力・人材が不足している課題がある。公務員能力強化面については、80年代から公共セクター改革の一環として取り組んではいるが、引き続き重要課題である。また、ガーナにおける行政の地方分権化が進む中で、制度の法的枠組みなどは整いつつある一方、行政関係職員の行政執行能力が強化されていない現状がある。なお、ガーナの各種公務員研修制度は西アフリカ英語圏では比較優位があるため、周辺国からの参加も見込まれており、西アフリカ域内の協力促進も求められている。</p>				<p>【開発課題への対応方針】</p> <p>本重点分野は、「農業・農村振興」、「経済インフラ整備」、「保健」など、ほかの開発課題の達成を促進するための下支えとなる分野として位置づける。また、各開発課題における協力の成果の持続性や自立発展性確保の観点からも、行財政機能の向上をけん引する人材の育成を支援する必要がある。中央政府における中堅行政官の能力向上、並びに公務員研修センターの機能の強化などを図るとともに、財政支援の効果的な活用を図る。</p>								
開発課題4 (小目標) 行財政機能の強化	協力プログラム名	協力プログラム概要	プロジェクト名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考
	行財政人材育成プログラム 公務員能力全般及び財政等に係る能力と制度の強化を通じて、行財政人材の育成を図る。		食糧農業省財務管理改善プロジェクト	技プロ	2016 年度 以前	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	9.21	
			公務員研修機能強化アドバイザー	個別専門家								
			人材育成奨学計画	無償								
			ODAアドバイザー	個別専門家								
			西アフリカ並びにサヘル地域における過激思考及びテロ対処のための国境管理能力強化プロジェクト	マルチ								
			ガバナンス分野の課題別研修	課題別研修								
								0.44百万USD	国連開発計画 (UNDP)			

	その他													
	協力プログラム名	協力プログラム概要	プロジェクト名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考		
2016 年度 以前					2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度					
その他	産業振興 プログラム	中小零細企業振興のため、政策提言、 制度構築から現場レベルでの支援まで 包括的な支援に取り組む。	国家カイゼンプロジェクト	技プロ			—					4.08		
			カカオ品質管理能力強化	個別専門家			—							
			アフリカの若者のための産業人材育成イニシアティブ（ABEイニシアティブ） 「修士課程およびインターンシップ」プログラム	国別研修			—							
			産業振興分野の青年海外協力隊	JOCV										
			民間セクター開発分野の課題別研修	課題別研修他										
	国民参加型の協力		社会的弱者支援分野の青年海外協力隊	JOCV										
			ガーナ放送協会テレビ放送機材整備計画	一般文化			-----							
			シエラレオネ、リベリア及びガーナにおける海上犯罪との闘いにおける海事法執行支援	マルチ			—					総額 0.63百万USD (3カ国対象)	国連薬物・犯罪事務 省(UNODC)	
			環境管理分野の課題別研修	課題別研修他			—							
			その他の分野の課題別研修	課題別研修他			—							

【凡例】 「協準」（＝全ての協力準備調査）、「詳細設計」（＝詳細設計）、「技プロ」（＝技術協力プロジェクト）、「開発計画」（＝開発計画調査型技術協力）、「個別専門家」、「個別機材」、「国別研修」、「課題別研修他」（＝課題別研修及び青年研修）、「JOCV」（＝青年海外協力隊）、「SV」（＝シニア海外ボランティア）、「第三国専門家」、「第三国研修」、「現地国内研修」、「科学技術」（＝科学技術協力（技プロ型及び個別専門家型））、「草の根技協」（＝草の根技術協力）、「〇〇省技協」（＝外務省・JICA以外の省庁及び独立行政法人等が実施している技術協力）、「民間提案型技協」（＝開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業）、「無償」（＝以下に特記するサブスキームを除く全ての無償資金協力）、「ノンプロ」（＝ノン・プロジェクト無償及び中小企業ノン・プロジェクト無償資金協力）、「草の根無償」（＝草の根・人間の安全保障無償）、「日本NGO」（＝日本NGO連携無償）、「一般文化」（＝一般文化無償）、「草の根文化」（＝草の根文化無償）、「有償」（＝円借款）、「マルチ」（＝国際機関等を通じた多国間協カスキーム）、「中小企業支援」（＝中小企業製品・技術とODAのマッチング事業「ニーズ調査」、「案件化調査」および「普及・実証事業」、かつ中小企業連携促進基礎調査）、「実線「——」（＝実施期間）、「破線「- - -」（＝実施予定期間）
※この凡例にない略語を使用する場合は凡例に当概略語を記載したうえで使用する。